



# 自衛隊栃木地方協力本部

## 栃木県自衛隊入隊・入校予定者激励会で先輩隊員がエール

自衛隊栃木地方協力本部（本部長 梶 陸佐）は2月23日、栃木県教育会館において栃木県内の自衛隊協力5団体（栃木県防衛協会、栃木県隊友会、栃木県自衛隊家族会、栃木県自衛隊雇用促進協議会、栃木県自衛官募集相談員連絡会）との共催で、令和4年度栃木県自衛隊入隊・入校予定者激励会を開催した。新型コロナウイルス感染症の影響で4年ぶりの開催となり、当日は入隊・入校予定者及びその家族等約300名が出席した。

第一部の式典では青木勲 栃木県防衛協会会長の挨拶に続き、福田富一 栃木県知事が祝辞を述べた。浜田防衛大臣による激励メッセージが放映された後、栃木県出身で陸海空各自衛隊に所属する3名の先輩隊員がステージに上がり、次のようにエールを送った。

○陸上自衛隊第2高射特科群第337高射特科中隊 清水快音1等陸士「最初は同期と3カ月も一緒に過ごせるのかと不安に思うかもしれませんが、苦業を共にし、今となつては大切な同期・仲間になりました。国を守る同じ仲間として一緒に頑張ってくださいませよう」

○海上自衛隊厚木航空基地隊連航隊 太田愛海士長「修業、または卒業する頃には大きく成長した自分に出会えることでしょうか」

○航空自衛隊飛行点検隊の藤田紗帆空士長「あまり気負いせず、しかしやるべきは全力で、教育隊での日々を駆け抜けていって欲しい」

式典の最後には入隊・入校予定者を代表して、防衛大学校に入校予定の齋藤玄さんと、一般曹候補生として海上自衛隊に入隊予定の松島美穂さんが決意表明を行い、育ててくれた家族や地域への感謝を述べると、感激して涙する来場者の姿も見られた。

第二部では第12音楽隊による祝音楽隊による祝賀演奏会が行われた。勇壮な陸海空自衛隊の行進曲メドレーから始まり、adoさんの「新時代」やゲーム音楽メドレー、「春」や「出発」をイメージする楽曲などが演奏され、入隊・入校予定者の門出を祝った。最後にジャズが流れると手拍子で会場全体が一体となり、終演後も拍手が鳴り止まないほどの盛り上がりを見せた。

入隊・入校予定者が退場する場面では、地方自治体の長や協力団体の長、学校関係者、県内所在部隊長、地本部長が拍手で見送り、今後の活躍を祈念し会を締めくくった。

栃木地本では「今後も地方自治体、協力団体、学校、各部隊との連携を密にし、将来の防衛を担う自衛官募集に邁進していく」としている。



## ジョイフル本田宇都宮店で初の広報展

自衛隊栃木地方協力本部真岡募集案内所（所長 麦倉准陸尉）は2月25日、ジョイフル本田宇都宮店において開催された「かみマル収穫祭」に広報ブースを出展した。これは栃木県上三川町がジョイフル本田宇都宮店と共催し、近隣市町や県外からの来訪者に上三川町をPRする初開催のイベントであり、栃木地本は中央即応連隊の支援を受け、軽装甲機動車、偵察用オートバイの他、防弾チョッキ等の装備品を展示した。当日は晴天の土曜日ということもあり、会場は多くの人で賑わった。

来場者の中には自衛隊と初めて接する人も多く、装備品を説明する隊員に熱心に質問したり、興味深そうに見学しながらカメラを構える人の姿が見られた。「令和元年台風19号で被災した時には懸命に災害派遣活動をされる自衛隊の皆さんの姿に勇気づけられました」「昼夜を問わず国を守って下さり感謝しています」等の声が聞かれた。

制服試着コーナーにも多くの人が訪れ、「かっこいい制服が着られて嬉しい」「全部着てみていいですか」と制服に袖を通して、家族で写真撮影する姿もあった。

自衛隊の職場を紹介する広報ブースでは、自衛隊パンフレットの配布や自衛官募集に関する相談窓口を設置し、幅広く自衛隊をPRした。「入隊を真剣に考えています」と具体的な説明を受ける高校生の姿もあった。

栃木地本は「今後も自衛隊の活動を身近に感じてもらうよう、広報イベントに積極的に参加していく」としている。

